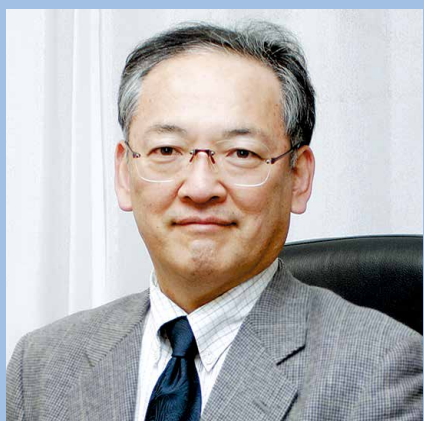


## 内科

# 小腸内細菌増殖症について

慢性の便秘や腹痛は、小腸の中の菌の異常増殖が原因かもしれません。最近外来で、「FODMAP食」や「SIBO」に関するお尋ねが増えてきており、徐々に話題になってきている「小腸内細菌異常増殖症」という疾患概念があります。小腸の運動の低下から食物が停滞し、本来は少ない菌が小腸に増殖してしまうため、下痢・腹痛・

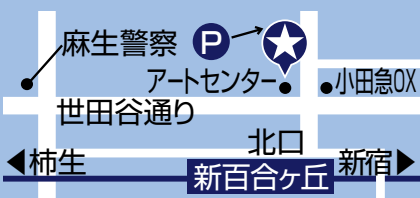
膨満感などの症状を繰り返します。胃腸や胆道系の手術後、胃酸分泌抑制剤服用、糖尿病、クローン病、腎不全などが悪化の要因となります。検査では呼気中の水素やメタンガスの測定が行われます（保険適応はありません）。治療は抗生剤（リファキシミンやメトロニダゾールなど）の服用や、発酵食品などを制限した、低FODMAP食が推奨されます。酸分泌を抑える薬を長期に服用していることも、菌の増殖を促進している可能性があります。漫然とした服用は避けるべきです。



福本 学

■ 内科

新百合山手福本内科



☎044-955-8877  
麻生区万福寺6-7-2  
メディカルモリノビル2F  
<http://www.fukumotonaika.jp/>